

San-iku 通信



ご自由にお持ちください。

2016 SPRING

Vol. **09**

社会福祉法人 賛育会 広報誌
さんいく通信

News
特集

さがら
相良清風園

「花粉症」～早めの治療が大切です～
健康でおいしく～わけぎと切り干し大根のごま辛子和え
賛育会ヒストリー ～第三章 第一話



特集

さがら
相良清風園



萩間祭典



夏祭り

地域の皆様と共に歩み始めて早15年 「自然豊かな街」で、穏やかな生活を送ってもらうために この地域に更に必要とされる施設を目指して

「静かなところですね。」初めて訪れる方のほとんどがこう言われます。周りは360度お茶畑、緑に囲まれています。毎年4月中旬になると、牧之原市の代名詞でもあるお茶が一齐に新芽を伸ばし始め、柔らかな黄緑色が一面を覆いつくします。

2001年7月1日相良清風園は開設しました。当時の相良町(現牧之原市)にはまだ特別養護老人ホームがなく、隣町にある同法人東海清風園を分床する予定で準備が始まりました。準備から完成まで僅か2年という異例の速さでの開設でした。当初の予定とは変わり、分床ではなく、新たに特養50床、ショートステイ20床、デイサービス一般型15名、認知症型10名でのスタートとなりました。デイサービスは地域の要望に応えるべく定員を増やし、現在は一般型30名、認知症型12名となっています。

2009年4月には市内にヘルパーステーション、居宅介護支援事業所を「たんぼぼ」という名称で開設、ご利用者の生活全般をサポートできる体制となりました。施設として心がけていることは情報を共有することで

す。各職員がインカムを使用し、その時その場で情報を発信受信しています。集まって話し合う時間をもちにくい現状ですが、インカムの導入により、スムーズな業務ができるようになりました。

また、2010年度より「新人教育研修プログラム」を始めました。新人職員が安全、安心かつ基準内のサービス提供が単独でできることを目的としています。最近福祉系以外から就職する職員が増えました。基礎から実践まできめ細かな指導を心がけています。

開設からもうすぐ16年目を迎えるようとしています。職員の顔ぶれも新しくなりました。地域の皆様、ご利用者ご家族の皆様、多くの方々に支えられていることに感謝し、これ



牧之原大茶園

茶畑が広がるのどかな街



2005年(平成17年)10月11日に旧相良町と旧榛原町が合併し、「牧之原市」が誕生しました。静岡県の中部地区の南に位置し、牧之原大茶園を背に、東に駿河湾を望む緑豊かな市です。深蒸し茶の発祥の地であり、荒茶の生産量は全国1位。東名高速道路「相良牧之原1C」と「御

前崎港」、さらに「富士山静岡空港」と、陸・海・空それぞれの玄関口を持つ市です。日本有数の海水浴場である静波海岸とさがらサンビーチがあります。夏には、遠浅で波が静かなビーチに連日大勢の海水浴客が訪れます。そのほかにも、四季折々の花や史跡などの名所がたくさんあります。

■インフォメーション
特別養護老人ホーム
相良清風園

TEL:0548-55-0550
静岡県牧之原市西萩間695-6

■Web サイト
<http://www.sagara-seifuen.jp/>

知っ得! ケア

「花粉症対策」

～早めの治療が大切です～



花粉症は2月～4月にかけてのみ発症するのではなく、原因となる花粉の種類によっては夏や秋にも発症する場合があります。

春先、北海道ではシラカバ(白樺)花粉が多く飛散しますが、本州・四国・九州ではスギ花粉が多く飛散します。そして、初夏はイネ科の花粉、秋はブタクサの花粉といったように季節による違いもあります。

花粉症の4大症状として、「くしゃみ」「鼻水」「鼻づまり」「目のかゆみ」があります。症状がひどい場合や予防薬としては飲み薬があります。予防薬は効果が出るのに時間がかかるため、早めに飲み始めることが大切です。

鼻水、くしゃみ、鼻づまりには点鼻薬が有効であり、目のかゆみには目薬が有効です。花粉症は、花粉が飛び始める少し前、又は症状が軽いうちに薬を服用するなど、早めの治療が大切です。症状が悪化すると治療が難しくなり、薬も効きづらくなりますので、早めの受診をお勧めします。



わけぎと切り干し大根の

春の食材で作る健康食

ごま辛子和え

■材料(2人分)

切り干し大根	20g	米酢	大さじ1/2
わけぎ	60g	塩	少々
かまぼこ	20g	だし汁	適宜
砂糖	大さじ1	練り辛子	適宜
		すりごま	大さじ2/3

■作り方

1. 切り干し大根は手早く洗い、水に浸して戻しやわらかく茹でる。ザルに上げ、水気を絞っておく。
2. わけぎは、沸とうした湯にさっと通し、ザルに広げて冷ましてから食べやすい長さに切る。
3. かまぼこは、千切りにする。
4. 調味料を混ぜ合わせ①～③を和えて器に盛る。
*すりごまは、召し上がる直前に混ぜると香りが良いです。

わけぎは、ねぎとたまねぎの雑種で緑黄色野菜の一つです。通年流通していますが、3～4月の旬の物は、みずみずしさや甘さが際立ちます。ねぎよりも辛みがマイルドで、熱を通すことでさらに甘みが増します。β-カロチン、ビタミンC等の栄養成分を豊富に含み、皮膚や粘膜を健康に保つ働きや、がんや風邪の予防にも効果があります。また便秘を改善する食物繊維や高血圧を予防するカリウム、貧血に効果のある鉄等の栄養成分も多く含んでいます。

(レシピ提供:相良清風園 管理栄養士 大石多恵)

賛育会ヒストリー

賛育会の歴史物語



第三章 賛育会 事業はじめて物語

第一話 豊野病院(豊野事業所):長野県長野市豊野町

1945年(昭和20年)3月10日の東京大空襲で賛育会は、ほぼ全事業拠点を焼失。同12日に焼けた賛育会病院屋上で、賛育会病院の解散式を行なった。退職金を支給後、残った資金で何をすべきかを必死に模索した藤田逸男理事長は、賛育会病院院長 河田茂、賛育会病院小児科部長 長谷川雅雄、大井病院小児科部長であった佐藤次郎と協議し、蓼科の瀧温泉ホテルを借りて、妊産婦乳児幼児120名の命を守るために疎開させた。その後、戦争の終結が見通せない中、戦時中の安全地帯は農村でもあることから、東京から農村への進出を決め豊野を候補地とした。理由は、長野市近郊、鉄道の分岐点、リンゴの産地で有名だったことだという。

早速、豊野の神郷村を訪ね、病院開設計画を説明すると、申し出は快諾され、村を挙げての協力を得られることとなった。早速、理事会にて豊野経営方針を決定、建設候補地を長野県上水内郡神郷村字豊野としたが、建築が始まる前に終戦を迎えた。しかし、人々の思いを受け、東京に引き揚げることなく豊野病院計画は進められた。これが村長はじめ村民の賛育会に対する信頼となった。建設用地の選定、建設共に難航するも、関係者の尽力で1945年(昭和20年)4月に着工。しかし金融措置令・物価高騰・資材不足・資金難等で難儀し工事は長期化、その間、村民の要望を受け、1945年(昭和20年)8月に村内の伊豆毛神社社務所にひとまず豊野病院仮診療所を開設。1947年(昭和22年)8月11日ようやく完全な竣工を迎えた(240坪・21床)。かくして、賛育会の豊野事業所の基礎が築かれたのであった。



社会福祉法人とは？

社会福祉法人の制度が変わります

今国会で社会福祉法の改正が審議され、その中で社会福祉法人のあり方について制度の改正が行われます。具体的には組織の管理体制の強化や事業運営の透明性の向上、地域社会への貢献の徹底などが制度に明記されます。

社会福祉法人は多数あります

現在わが国には1万6千を超える社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)がありますが、その9割近くが一つの地域で一つもしくは数施設を運営する中小の法人です。賛育会は数ある社会福祉法人の中でも大きな組織を持つ法人のひとつです。

社会福祉法人とはどんな組織

社会福祉法人は1951(昭和26)年の社会事業法(現在の社会福祉法)の成立で誕生した福祉の発展と充実を目的とする民間の非営利の組織です。多くの法人が高齢者、障害者、児童などの分野での福祉施設を運営しています。特に特別養護老人ホームや、児童養護施設、障害者の支援施設など、人権を擁護する観点から、確実に公正な運営が必要な施設は、その経営主体が社会福祉法人などに制限されています。

一般の会社との違いは

社会福祉法人は事業の公益性や、健全な運営のために、法人税、固定資産税、寄付等について税制上の優遇がされています。一方で定期的に監査を受けることが義務となっているほか、収益を社会福祉に関する事業以外に使うことができないなどの制限があります。



さんいく保育園清澄白河
(東京都江東区)

ひなまつり集会を行いました



ひなまつり集会

3月3日にひなまつり集会を行いました。

乳児クラスでは、歌に合わせてペープサートのお人形が順々に出てきて大喜び。また、自分たちで作ったおひなさまもみんなに見てもらいました。

幼児クラスでは、白河デイサービスセンターから6名の方々をお招きし、一緒にお祝いをしました。ひなまつりの由来やひな人形の名前を考えたり、一緒に手遊び歌で遊んだり楽しいひと時を過ごすことができました。この日のお昼はちらし寿司を、そしておやつでは桜餅と雛あられを美味しくいただきました。子どもたちが健やかに成長しますように。



アラカルト

ボランティアさんに
感謝の気持ちを込めて



相良清風園(静岡県牧之原市)

2月16日 日頃より、クラブ活動・行事・日常業務等で施設を支えてくださっているボランティアさんに感謝の気持ちを込めて、ボランティア感謝会を開催しました。

San-iku 通信 Vol.09 2016年 春号

編集発行人: 西原 良信

発行所: 社会福祉法人 賛育会

東京都墨田区太平3-17-8 電話: 03-3622-7614

印刷: (有)エースプリント

賛育会ホームページ <https://www.san-ikukai.or.jp/>

Hello!
ホスピタル

Vol.09

賛育会病院

「MRI装置入替について」

～検査時の音が静かになりました～

2016年3月1日より、東芝製1.5テスラ MRI装置が稼働しました。MRIとは、M:magnetic (磁石)、R:resonance (共鳴)、I:imaging(画像)の頭文字で、日本語では「磁気共鳴画像」と訳されます。トンネル型のMRI装置【磁石】の中に入り、人体に電磁波(電子レンジの原理)を照射し【共鳴】、人体より戻ってくる信号を映像化【画像】します。検査時に「ガガ、ゴンゴン」等の音が発生しますが、以前の機器と比較し静音性が高いことが、この装置の一番の特徴となります。MRI検査はX線検査やCT検査と比較し、病変部と正常組織との濃淡がつきやすく、病気が見つかりやすい検査です。また、CT検査で血管を映すには、造影剤という薬を注射する必要がありますが、MRI検査ではほとんど使用せずに血管を映すことが可能です。室内の床はフローリング調で壁も白を基調とし、リラックスして検査を受けられるようになりました。X線による被ばくも無く、検査音が静かになった最新の装置で検査を行いますので、少しでも皆さまが快適に検査を終えられるよう努めてまいります。(放射線科より)

■ 賛育会病院

住所 東京都墨田区太平3-20-2

お問い合わせ ☎03-3622-9191

受付時間 月～金(祝日は除く)9時～16時30分(土曜のみ9時～12時)